



フェアな価格 確かな信頼

バンカーオイル

Bunker Oil

☆RIM BUNKER OIL INTELLIGENCE DAILY

★No. 8757 Sep 7 2020

Copyright(C) 2020 Rim Intelligence Co. All rights reserved.

--TOKYO, 12:30 JST Sep 7 2020<Assessment Closing Time>

◎リムエネルギー総合指数22種(レックス22、2010年平均=100)

7日のレックス22は、先週末から0.27ポイント上昇し67.50です

-----リムレポートのご紹介-----

リム情報開発のレポートラインアップは、下記のURLからアクセスください。各レポートのサンプルに加え、内容についての詳細な説明がご覧いただけます。

<https://www.rim-intelligence.co.jp/first/report>

原油・コンデンセート	アジア石油製品	バンカーオイル
ローリーラック(国内陸上)	ジャパン石油製品(国内海上)	LPG LNG
石油化学	ポリオレフィン	電力
バイオマス(週刊)	デイリーデータ	Rim Data File
CROSS VIEW軽油	CROSS VIEW重油	エネルギー通信

上記に関するお問い合わせは、TEL 03-3552-2411 E-mail info@rim-intelligence.co.jp



◎North/South America

— 4Sep20 Closing Quotes —

Port/Location	380CST		VLSFO		LSMGO #	
	Low - High	Change	Low - High	Change	Low - High	Change
Vancouver BC*	280.00 - 283.00	-7.00	310.00 - 313.00	-5.00	386.00 - 396.00	+1.00
Seattle/Tacoma*	277.00 - 280.00	-5.00	312.00 - 315.00	-20.00	380.00 - 390.00	-10.00
Los Angeles*	262.00 - 265.00	-10.00	320.00 - 323.00	-10.00	370.00 - 380.00	-9.00
San Francisco*	NA - NA	-	355.00 - 358.00	-10.00	390.00 - 400.00	-20.00
New York*	275.00 - 278.00	-10.00	340.00 - 343.00	-5.00	355.00 - 365.00	-10.00
Philadelphia*	280.00 - 283.00	-9.00	347.00 - 350.00	0.00	355.00 - 365.00	0.00
Norfolk*	NA - NA	-	362.00 - 365.00	0.00	375.00 - 385.00	0.00
Houston*	265.00 - 268.00	0.00	312.00 - 315.00	-3.00	340.00 - 350.00	-10.00
New Orleans*	270.00 - 273.00	-10.00	320.00 - 323.00	0.00	360.00 - 370.00	0.00
Panama*	307.00 - 310.00	-7.00	320.00 - 323.00	0.00	380.00 - 390.00	0.00
R. D. Janeiro***	NA - NA	-	328.00 - 329.00	0.00	448.00 - 449.00	+5.00
Rio Grande***	NA - NA	-	353.00 - 354.00	0.00	512.00 - 513.00	+5.00
Salvador***	NA - NA	-	361.00 - 362.00	0.00	493.00 - 494.00	+5.00
Santos***	NA - NA	-	323.00 - 324.00	0.00	478.00 - 479.00	+5.00

--Note: In US DLRS/MT, *Ex-wharf, ***Posted Prices, # R. D. Janeiro, Rio Grande, Salvador and Santos (MGO)

◎Europe

— 4Sep20 Closing Quotes —

Port/Location	380CST		VLSFO		LSMGO	
	Low - High	Change	Low - High	Change	Low - High	Change
Rotterdam	262.00 - 265.00	-2.00	295.00 - 298.00	-10.00	333.00 - 343.00	0.00
Antwerp	NA - NA	-	295.00 - 298.00	-7.00	323.00 - 333.00	0.00
Hamburg	277.00 - 280.00	-5.00	317.00 - 320.00	0.00	343.00 - 353.00	+3.00
Gibraltar	280.00 - 283.00	-10.00	310.00 - 313.00	+5.00	365.00 - 375.00	0.00
Algeciras	280.00 - 283.00	-10.00	310.00 - 313.00	+5.00	365.00 - 375.00	0.00

--Note: In US DLRS/MT

◎Middle East/Africa

— 4Sep20 Closing Quotes —

Port/Location	380CST		VLSFO		LSMGO #	
	Low - High	Change	Low - High	Change	Low - High	Change
Las Palmas	280.00 - 283.00	-10.00	310.00 - 313.00	+5.00	355.00 - 365.00	-17.00
Tenerife	280.00 - 283.00	-10.00	310.00 - 313.00	+5.00	355.00 - 365.00	-17.00
Dammam/R. Tanura***	278.80	0.00	332.00	0.00	442.00	0.00
Jeddah/Yanbu***	290.80	0.00	332.00	0.00	442.00	0.00
Kuwait	255.00 - 258.00	-10.00	310.00 - 313.00	0.00	430.00 - 440.00	-10.00
Fujairah	255.00 - 258.00	-10.00	310.00 - 313.00	0.00	430.00 - 440.00	-10.00

--Note: In US DLRS/MT, ***Posted Prices, # Dammam/R. Tanura, Jeddah/Yanbu (MGO)

◎Asia

— 4Sep20 Closing Quotes —

Port/Location	380CST		VLSFO		LSMGO (LSMDO: Japan) ##	
	Low - High	Change	Low - High	Change	Low - High	Change
Tokyo Bay	297.00 - 300.00	+2.00	340.00 - 343.00	+3.00	547.00 - 557.00	0.00

West Japan	303.00 - 306.00	+2.00	346.00 - 349.00	+3.00	557.00 - 567.00	0.00
Ise Bay	302.00 - 305.00	+2.00	345.00 - 348.00	+3.00	547.00 - 557.00	0.00
#Rim Average-Sep	298.68	+1.73	342.27	+2.59	551.50	0.00
S. Korea	307.00 - 310.00	-15.00	340.00 - 343.00	-7.00	370.00 - 380.00	0.00
F. E. Russia*	252.00 - 255.00	+5.00	352.00 - 355.00	+5.00	420.00 - 430.00	+15.00
Taiwan Kaohsiung PP***	300.00 - 303.00	-15.00	350.00 - 353.00	-15.00	397.00 - 400.00	-15.00
Taiwan Keelung PP***	NA - NA	-	350.00 - 353.00	-15.00	397.00 - 400.00	-15.00
Taiwan Taichung PP***	NA - NA	-	350.00 - 353.00	-15.00	397.00 - 400.00	-15.00
Taiwan Others PP***	NA - NA	-	350.00 - 353.00	-15.00	397.00 - 400.00	-15.00
Shanghai	297.00 - 300.00	-10.00	335.00 - 338.00	-7.00	390.00 - 400.00	-5.00
Hong Kong	284.00 - 287.00	+1.00	320.00 - 323.00	+1.00	345.00 - 355.00	+2.00
Singapore	263.00 - 266.00	+3.00	325.00 - 328.00	+2.00	355.00 - 365.00	-3.00
Bangkok	NA - NA	-	357.00 - 360.00	+7.00	410.00 - 420.00	0.00
Colombo	NA - NA	-	367.00 - 370.00	0.00	410.00 - 420.00	0.00
--Note: In US DLRS/MT, *Nakhodka, Vostochny, Vladivostok, ***Posted Prices #Rim Tokyo Bay monthly average, ## F.E.Russia and Taiwan PP (MGO)						

○概況

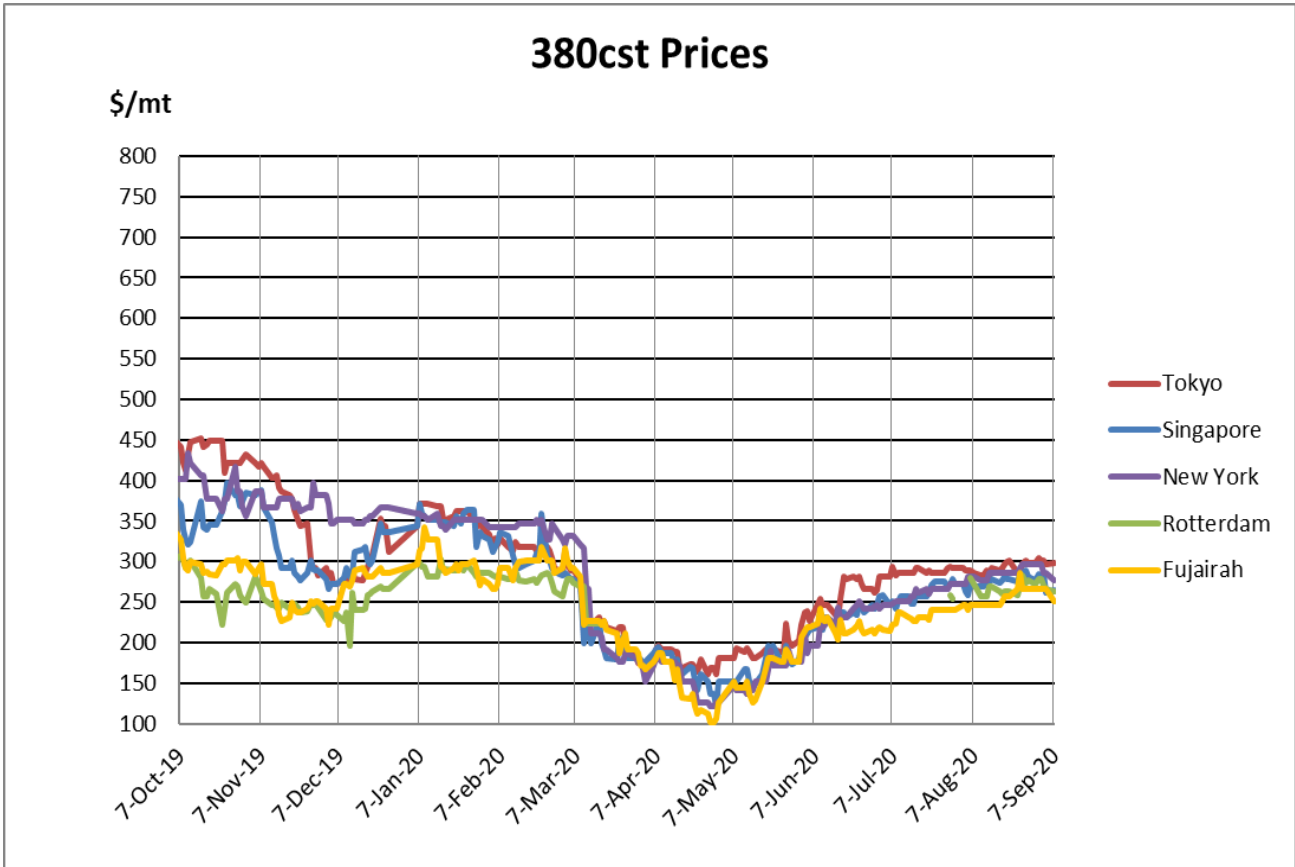
4日のバンカー相場は、原油安を受け、多くの地域で下落がみられた。

週末4日のニューヨーク・マーカンタイル取引所(NYMEX)のWTI原油先物相場は急落した。当限10月物の終値は39.77ドル/バレルと、前日比1.60ドル安。当限の終値が40ドルを下回ったのは7月30日以来となる。週の初めに比べると2.84ドル安い。米エネルギー情報局(EIA)が2日発表した週間の石油在庫統計で、ガソリンや中間留分需要が伸び悩んでいたことを受け、原油需要が低迷するとの懸念が強まり、売りが先

行した。また、ロシアのノヴァクエネルギー相が4日、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、2020年の世界の原油需要が前年比で日量900万~1000万バレル減少するとの見方を示したことも、相場の弱材料として働いた。このほか、米株価が急落したことも、株と同じくリスク資産である原油先物の売りを誘った。インターコンチネンタル取引所(ICE)の北海ブレント原油先物相場は大幅続落した。当限11月物の終値は前日比1.41ドル安の42.66ドル/バレル。当限の終値としては約2カ月ぶりの安値を付けた。週の初めに比べると2.62ドル安い。

4日主要原油の当限引け値は次のとおり。

- * NYMEX・WTI 10月: 39.77ドル(前日比 1.60ドル安)
- * ICE・BRENT 11月: 42.66ドル(前日比 1.41ドル安)



○バンクーバー

バンクーバーの380cst相場は、280.00～283.00ドルと前日から7.00ドル下落した。原油安を受けた。売唱えは280.00～290.00ドルが聞かれた。硫黄分0.5%以下のVLSFO相場は、310.00～313.00ドルと同5.00ドル下落した。原油安を受けた。マリンペトロバルク (MPB) は

310.00～335.00ドルで売り唱えた。一方、LSMGO相場は、386.00～396.00ドルと同1.00ドル上昇した。需給の引き締まりを受けた。MPBは386.00～410.00ドルで売り唱えた。

○米西海岸

シアトルの380cst相場は、277.00～280.00ドルと前日から5.00ドル、硫黄分0.5%以下のVLSFO相場は、313.00～315.00ドルと同20.00ドル、LSMGO相場は、380.00～390.00ドルと同10.00ドルそれぞれ下落した。原油安を受けた。ロサンゼルス380cst相場は、262.00～265.00ドルと前日から10.00ドル、硫黄分0.5%以下のVLSFO相場は、320.00～323.00ドルと同

10.00ドル、LSMGO相場は、370.00～380.00ドルと同9.00ドルそれぞれ下落した。原油安を受けた。サンフランシスコの硫黄分0.5%以下のVLSFO相場は、355.00～358.00ドルと前日から10.00ドル、LSMGO相場は、390.00～400.00ドルと同20.00ドルそれぞれ大幅に下落した。原油安を受けた。

○米東海岸

ニューヨークの380cst相場は、275.00～278.00ドルと前日から10.00ドル、硫黄分0.5%以下のVLSFO相場は、340.00～343.00ドルと同5.00ドル、LSMGO相場は355.00～365.00ドルと同10.00ドルそれぞれ下落した。原油安を受けた。フィラデルフィアの380cst相場は、280.00～283.00ドルと前日から9.00ドル下落した。原油安を

受けた。一方、硫黄分0.5%以下のVLSFO相場は、347.00～350.00ドル、LSMGO相場は、355.00～365.00ドルといずれも前日からもち合った。ノーフォークの硫黄分0.5%以下のVLSFO相場は、362.00～365.00ドル、LSMGO相場は、375.00～385.00ドルといずれも前日から横ばい。

○米ガルフ

ヒューストンの380cst相場は、265.00～268.00ドルと前日から変わらず。一方、硫黄分0.5%以下のVLSFO相場は、312.00～315.00ドルと前日から3.00ドル、LSMGO相場は340.00～350.00ドルと同10.00ドルそれぞれ下落した。原油安を受けた。

ニューオーリンズの380cst相場は、270.00～273.00ドルと前日から10.00ドル下落した。原油安を受けた。一方、硫黄分0.5%以下のVLSFO相場は、320.00～323.00ドル、LSMGO相場は、360.00～370.00ドルといずれも前日からもち合った。

○北西ヨーロッパ

バンカー市場ARA (アムステルダム、ロッテルダム、アントワープ) の380cst相場は、ロッテルダムで262.00～265.00ドルと前日から2.00ドル下落した。原油安を受けた。硫黄分0.5%以下のVLSFO相場は、ロッテルダムで295.00～298.00ドルと前日から10.00ドル、アントワープでは295.00～298.00ドルと同7.00ドルそれぞれ下落した。原油安を受けた。LSMGO相場はロッテルダムで

333.00～343.00ドル、アントワープでは323.00～333.00ドルといずれも前日から横ばい。ドイツのハンブルグの380cst相場は、277.00～280.00ドルと前日から5.00ドル下落した。原油安を受けた。一方、硫黄分0.5%以下のVLSFO相場は、317.00～320.00ドルと前日から変わらず。また、LSMGO相場は、343.00～353.00ドルと同3.00ドル上昇した。需給の引き締まりを受けた。

○ジブラルタル・アルヘシラス

英領ジブラルタルの380cst相場は、280.00～283.00ドルと前日から10.00ドル大幅に下落した。原油安を受けた。一方、硫黄分0.5%以下のVLSFO相場は、310.000～313.00ドルと同5.00ドル上昇した。需給の引き締めを受けました。また、LSMGO相場は、365.00～375.00ドルと前日から変わらず。

スペインのアルヘシラスの380cst相場は、280.00～283.00ドルと前日から10.00ドル大幅に下落した。原油安を受けた。一方、硫黄分0.5%以下のVLSFO相場は、310.000～313.00ドルと同5.00ドル上昇した。需給の引き締めを受けました。また、LSMGO相場は、365.00～375.00ドルと前日から変わらず。

○フジャイラ

アラブ首長国連邦(UAE)フジャイラの380cst相場は、255.00～258.00ドルと前日から10.00ドル大幅に下落した。需給の緩みを受けた。売唱えは255.00～270.00ドルが聞かれた。一方、硫黄分0.5%以下のVLSFO相場は、310.00～313.00ドルと前日からもち

合った。売唱えは310.00～320.00ドルが聞かれた。また、LSMGO相場は430.00～440.00ドルと同10.00ドル下落した。需給の緩みを受けた。売唱えは430.00～455.00ドルが聞かれた。

◎アジア・バンカー・マーケットコメント

○日本

日本の380cst相場は、京浜で297.00～300.00ドルと前日から2.00ドル上昇した。シンガポール重油先物高を受けた。売唱えは300.00～305.00ドルが聞かれた。需給状況はバランス、売り手の多くは、指標価格の月間平均値対比20.00ドルのプレミアムで唱えを挙げている。

ある。また、非常に強い台風10号(Haishen:ハイシェン)の接近により、西日本では厳戒態勢が敷かれており、燃料油の受渡しに大幅な遅延が予想される。強材料が重なるなか、売り手の多くは安売りを控えており、売りアイデアはおおむねシンガポール軽油0.001%市況対比10.00ドル程度のディスカウント～フラットにとどまっている。

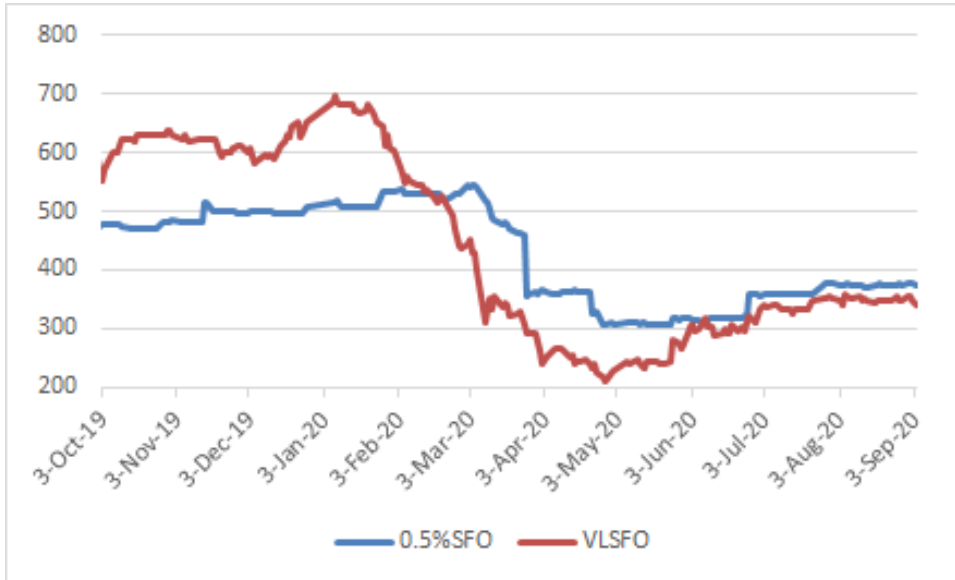
硫黄分0.5%以下のVLSFO相場は、340.00～343.00ドルと同3.00ドル上昇した。シンガポール0.5%S重油先物高を受けた。売唱えは340.00～350.00ドルが聞かれた。市場では需要の回復を指摘する声が伝えられている。4日は外国船社を中心に多くの引き合いが報告されている。既報のとおり、阪神地区では供給不足から需給状況が引き締めりつつ

硫黄分0.5%以下のLSMDO相場は547.00～557.00ドルと前日から横ばい。売唱えは557.00～567.00ドルが聞かれた。なお、リムバンカー重油VLSFOの9月月間平均価格は342.27ドルと先月より7.42ドル安い。

【東京湾のVLF0および0.5%S重油価格】

京浜のVLSFO相場は9月3日に338.50ドルと8月26日時点から15.00ドル下落した。月初めということもあり、売り手の多くは市況観を探りながら価格を提示している。現時点では、極端に価格を切り下げて販促を仕掛ける動きはみられず、相場は原油相場なりに推移している。ただし、中国の舟山、青島などがシンガポール並みの価格で攻勢を強めており、需要の弱さも手伝い、相場が下振れする可能性が指摘されている。

0.5%S重油は同43,250円と前回から変わらず。9月商談が始まったが需要の弱さは変わらず。市中調達
の動きはみられず、スポット市場は閑散としている。くわえて、相次ぐ台風の接近がバンカー販売の不
振に拍車をかけている。



○韓国

韓国の380cst相場は、307.00～310.00ドルと前
日から15.00ドル大きく下落した。売り圧力の高ま
りが相場を押し下げた。GSカルテックスは310.00
～313.00ドルで売り唱えた。

硫黄分0.5%以下のVLSFO相場は、340.00～343.00
ドルと同7.00ドル下落した。売り圧力の高まりが
相場を押し下げた。SKエナジーは340.00～343.00
ドル、S-オイルは348.00～351.00ドル、GSカルテッ
クスは350.00～353.00ドルでそれぞれ売り唱えた。

なお、非常に強い台風10号(Haishen:ハイシェン)
の接近に伴い、韓国の各港で燃料油の受渡しに
大きな遅延が予想される。S-オイルは新規の引き
合いに対し11日以降の受渡しを条件として提示し
ている。

硫黄分0.1%以下のLSMGO相場は、370.00～
380.00ドルと前日からもち合った。SKエナジーは
380.00～390.00ドル、GSカルテックスとS-オイル
はともに390.00～400.00ドルで売り唱えた。

○極東ロシア

極東ロシアの380cst相場は、252.00～255.00
ドルと前日から5.00ドル上昇した。売り圧力の
後退が相場を押し上げた。売唱えは255.00～
260.00ドルが聞かれた。引き続き、競合する日
本、韓国と比較して割安で推移している。高硫
黄重油の需要自体は少ないが、代替港の候補と
して船会社からの価格の問い合わせが増してい
るようだ。

硫黄分0.5%以下のVLSFO相場は、352.00～
355.00ドルと同5.00ドル上昇した。売り圧力の
後退が相場を押し上げた。売唱えは355.00～
360.00ドルが聞かれた。ただ、4日は目立った引
き合いが報告されず、市場は閑散としている。
台風9号(Maysak:メイスーク)に続き、非常に強
い台風10号(Haishen:ハイシェン)が極東ロシア

に接近している。台風9号の影響ですでに燃料油の受渡しに大幅な遅延が生じており、相次ぐ台風の接近に現地では警戒感を強めている。

MGO相場は、420.00～430.00ドルと同15.00ド

ル上昇した。売り圧力の後退が相場を押し上げた。売唱えは430.00～440.00ドルが聞かれた。硫黄分0.1%以下のLSMGOは、460.00～470.00ドルの唱えが聞かれた。

○香港

香港の380cst相場は284.00～287.00ドルと前日から1.00ドル強含んだ。シンガポール重油先物高を受けた。売唱えは284.00～297.00ドルが聞かれた。硫黄分0.5%以下のVLSFO相場は320.00～323.00ドルと同1.00ドル上昇した。シンガポール0.5%S

重油先物高を映した。売唱えは320.00～347.00ドルが聞かれた。LSMGO相場は345.00～355.00ドルと同2.00ドル上昇した。シンガポール軽油先物高を反映した。売唱えは355.00～362.00ドルが聞かれた。

○シンガポール

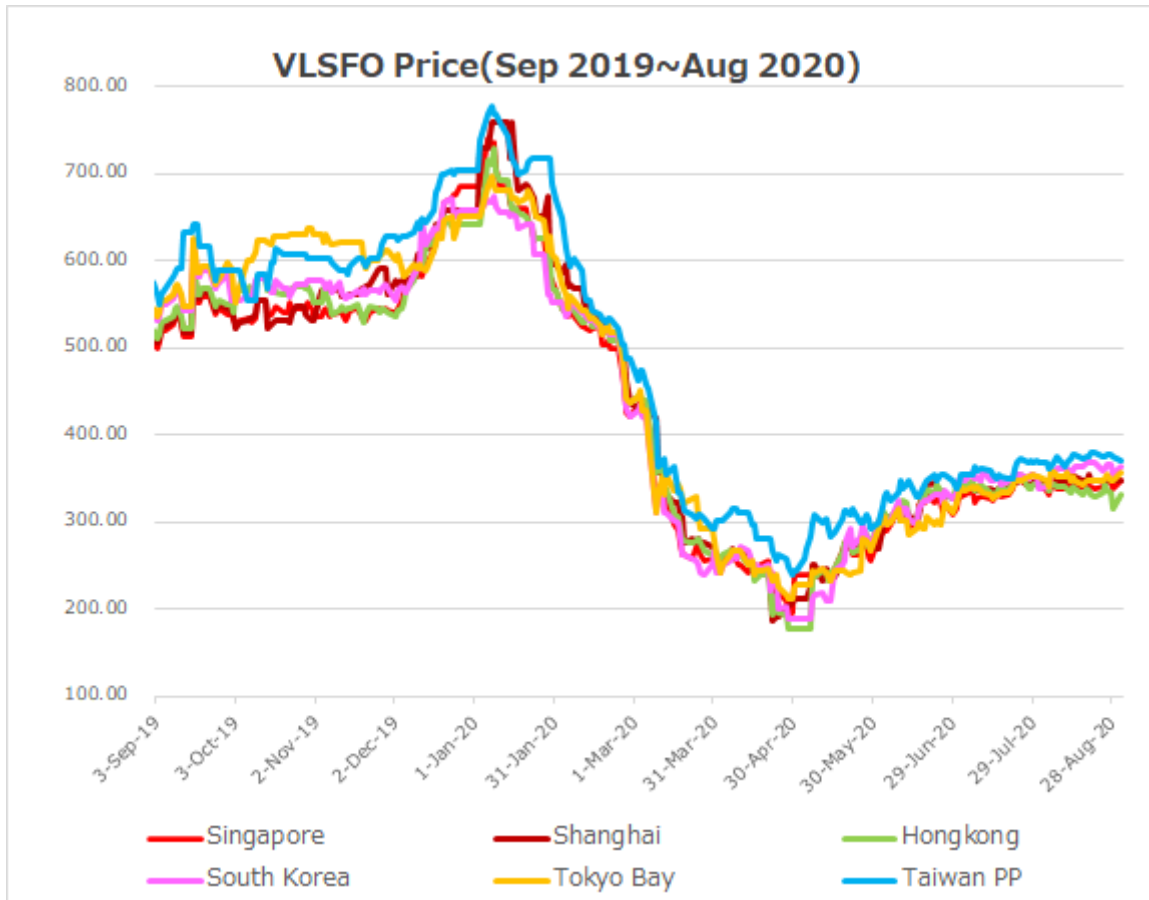
シンガポールの380cst相場は、263.00～266.00ドルと前日から3.00ドル上昇した。シンガポール重油先物安を高映した。売唱えは263.00～273.00ドルが聞かれた。

硫黄分0.5%以下のVLSFO相場は325.00～328.00ドルと同2.00ドル上昇した。シンガポール0.5%S重油先物高を反映した。売唱えは325.00～345.00ドルが聞かれた。固定価格の商いでは3日、12日以降渡し計1,000トン以上が320ドル台後半で成約されたもよう。また、市況連動相場の商いでは4日、13日以降渡し計800トン以上がシンガポール軽油市況比20～28ドルのディスカウント、0.5%重油市況比5～10ドルのプレミアムでそれぞれ成約されたようだ。

LSMGO相場は355.00～365.00ドルと同3.00ドル続落した。売り圧力の台頭を映した。売唱えは

355.00～375.00ドルが聞かれた。

8月後半からLSMGO価格が安値で推移している。軽油の価格が下落している理由として、中国の洪水やインドのモンスーンで需要が激減していることが挙げられる。このため軽油を含む中間留分の精製マージンも低迷している。10月以降、アジア各国の石油会社は、原油輸入量をさらに減らし、減産に踏み切る可能性が高いようだ。一方、残渣油脱硫装置 (VRDS) の稼働が進む中、高硫黄重油の生産が一段と減少し、HSFOの価格は下支えされるもよう。HSFOとLSMGOの2油種のマーケットに影響を受けるVLSFO価格は、ややLSMGOの価格寄りの安値で今後は推移するとみられている。また、市場関係者は、シンガポールでは欧州からの輸入玉が増加し、供給過剰感が台頭するため、9月末までVLSFO価格の上値は重いと付け加えた。


◎公示価格

○ブラジル・ペトロブラスの公示価格(4日09時30分)＝MGO価格を切り上げ

ブラジルの国営石油会社ペトロブラスは、現地時間の4日09時30分、MGO価格を5.00ドル切り上げた。一方、VLSFO価格は据え置いた。主要港の価格は以下のとおり。

	VLSFO 0.5%S	MGO
リオデジャネイロ	328.00-329.00	448.00-449.00
リオグランデ	353.00-354.00	512.00-513.00
サルバドール	361.00-362.00	493.00-494.00
サントス	323.00-324.00	478.00-479.00

○台湾中油の公示価格＝バンカー重油価格(380cst&LS180cst)をそれぞれ切り下げ

台湾中油(CPC)は7日、バンカー重油価格(380cst)、バンカー重油価格の硫黄分0.5%S以下180cst価格をそれぞれ3.00ドル切り下げた。一方、MGO価格を据え置いた。主要港のスポット価格は以下のとおり。

	380cst	180cst(0.5%S)	MGO
高雄	300.00	350.00	400.00
基隆	n. a.	350.00	400.00

台中	n. a.	350.00	400.00
その他	n. a.	350.00	400.00

◎マーケットニュース
○シンガポール＝石油各社の製油所平均稼働率、78.1%に上昇

リム情報開発の調べによると、シンガポール石油各社の合計の原油処理量は4日時点で日量109万バレルとなり、前週から5.8%上昇した。全社の常圧蒸留装置の実働能力は日量139万5,000バレル。平均の製油所稼働率は実働能力に対し78.1%となった。

Singapore crude run rates

Capacity	Shell		ExxonMobil		SRC		Total	
	500,000	b/d	605,000	b/d	290,000	b/d	1,395,000	b/d
Sep 04, 2020	70.0	%	79.3	%	89.7	%	78.1	%
	350,000	b/d	480,000	b/d	260,000	b/d	1,090,000	b/d
Aug 28, 2020	66.0	%	74.4	%	86.2	%	73.8	%
	330,000	b/d	450,000	b/d	250,000	b/d	1,030,000	b/d
Aug 21, 2020	66.0	%	74.4	%	86.2	%	73.8	%
	330,000	b/d	450,000	b/d	250,000	b/d	1,030,000	b/d
Aug 14, 2020	66.0	%	74.4	%	86.2	%	73.8	%
	330,000	b/d	450,000	b/d	250,000	b/d	1,030,000	b/d

○中国＝山東地域の独立系製油所26社の平均稼働率は65.6%へ低下

リム調べによると、3日時点で山東地域26カ所の独立系製油所の平均稼働率は65.6%と8月後半から0.8ポイント低下した。原料の処理量は日量31万2,100トン。常・減圧蒸留装置の平均稼働率は67.1%で、原料の処理量は日量19万3,700トン。無棣鑫岳化工(日量4万8,000バレル)が定修に入った。一方、中海精細化工(日量4万6,000バレル)は閉鎖作業に入っている。

製油所名	能力 (b/d)	稼働率 (%)	
		9月前半	8月後半
正和石化	100,000	68.5	68.5
壘利石化	60,000	66.7	66.7
華星石化	120,000	71.9	71.9
神馳化工	52,000	70.0	70.0
利津石化	70,000	71.7	71.7
華聯石化	100,000	70.5	70.5
京博石化	70,000	72.5	72.5
恒源石化	70,000	71.4	71.4
万通石化	86,000	66.7	66.7
匯豊石化	116,000	67.4	67.4
金城石化	118,000	64.4	64.4
天弘石化	100,000	68.2	68.2
弘潤石化	114,000	70.1	70.1
海化会社	60,000	54.0	54.0
昌邑石化	120,000	70.8	70.8
中海外能源	30,000	71.1	71.1
海右石化	70,000	24.6	24.6

東明石化	150,000	68.8	68.8
新海石化	60,000	67.3	67.3
亜通石化	70,000	64.5	64.5
壽光魯清石化	60,000	66.2	66.2
齊潤化工	44,000	65.8	65.8
清源石化	104,000	65.2	65.2
無棣鑫岳化工	48,000	21.1	60.5
日照嵐橋石化	70,000	62.2	62.2
海科瑞林化工	46,000	62.2	62.2
合計	2,214,000	65.6	66.4

◎お知らせ

○電力データCD・2019年度版の販売について

リム情報開発は、電力データCDの2019年度版の販売を7月15日から開始いたします。初版となる2014年度版のリリース以来、各方面からご好評をいただいております、電力データCDの最新版となります。最新版では、2019年4月から2020年3月までの1年間に、全国の公共機関が公募した電力調達について、詳細な情報を提供いたします。2019年度版は、収集件数4,740件(昨年度4,512件)で、うち比較可能なデータは3,379件(同3,282件)です。

関連記事

<https://www.rim-intelligence.co.jp/news/news-domestic/1545787.html>

お申込みはこちらへ

<https://www.rim-intelligence.co.jp/contents/info/powerDataCd2019.pdf>

○リム電力レポートの英語版発刊のお知らせ

リム情報開発は、2020年1月6日(月)よりリム電力レポートの英語版を発刊しました。日本の電力市場は、20兆円の市場規模と世界でも有数の規模を誇る中、2016年4月の電力小売全面自由化以降、海外の事業者からも新規参入の動きが相次いでいます。特に海外の事業者による卸電力市場への注目度は高く、日本の卸電力市場の動向を理解する上で、電力レポートの英語版を希望する声はこれまでも多くありました。このたび、こうした声に応えるべく、当社では英語版を発刊する運びとなりましたので、お知らせ致します。新たに発刊する英語版でも、日々の卸電力取引の動向を詳細に伝えるとともに、火力発電の動向、スパーク/ダークスプレッド、多種多様なグラフなど、日本語版と同様の情報を掲載して参ります。

詳細は電力チーム(03-3552-2411、info@rim-intelligence.co.jp)までお問い合わせください。

○季刊誌『エネルギー通信』発刊のお知らせ

リム情報開発は8月20日、四半期のエネルギー動向が一気に把握できるように、初の季刊誌として『エネルギー通信』を発刊します。石油、ガス、石炭など化石燃料の市況動向や各種貿易統計、小売自由化が進む電力やガス事業を含む国内エネルギー業界の最新事情、その他エネルギーにかかわる幅広いトピックを取り上げます。リム情報開発がこれまでに蓄積してきた各エネルギーの価格情報をもとに、エネルギーの『いま』を易しく、かつ詳しく解説します。リムが得意とする日々の取引動向をミクロの情報とすると、『エネルギー通信』では、業界の大きな流れを俯瞰するマクロの情報を掲載していきます。

『エネルギー通信』は2、5、8、11月の各月下旬に発刊いたします。購読はWEB閲覧のみとなり、価格は年間契約の場合18,000円(各号5,000円)です。下記のリンクよりお申し込みください。

<https://www.rim-intelligence.co.jp/contents/info/eneletter>

○『バイオマスレポート』発刊のお知らせ

リム情報開発は1月23日、発電用の木質ペレットやPKS(パームヤシ殻)の価格評価を始めます。この価格評価や市場動向などを網羅した週刊『バイオマスレポート』を発刊し、関係者の皆様に役立つ情報をお届けします。世界的に環境問題に対する意識が高まる中、木質バイオマスを燃料とした発電所の建設が国内でも相次いでいます。これに伴い、木質バイオマスの価格動向に対する関心がかつてないほど高まっています。『バイオマスレポート』は、国際市場の動向に留まらず、国内未利用木材の動向や各種貿易統計、入札情報などを随時掲載していきます。

『バイオマスレポート』は毎週木曜日に発刊いたします。価格は毎月20,000円です。下記のリンクよりお申し込みください。

<https://www.rim-intelligence.co.jp/contents/info/bio/>

○IMO説明会のDVDと資料発売のお知らせ

リム情報開発は2月14日に大阪で、国際海事機関(IMO)が1月から導入した船舶燃料の硫黄分規制の最新動向について説明会を開催しました。日本をはじめとした世界各国のIMO硫黄分規制への対応について、弊社の重油・バンカーオイル担当の小泉が分かりやすく解説し、来場者の方々からご好評をいただきました。また、都合により当日ご参加いただけなかった方々から、説明会の内容に関するお問い合わせも頂戴いたしました。そこで今回、講演を撮影したDVDと、会場で説明し切れなかった内容を追加した資料を販売いたします。価格はDVDが1枚2,000円、資料が1部1,000円です。ご購入いただいた方には、もれなく当日の質疑応答の内容をまとめた付録資料をお付け致します。下記のボタンよりお申し込みください。

<https://www.rim-intelligence.co.jp/contents/info/imoDvd/>

◇

※リムレポートの転送は著作権により堅く禁じられております。購読契約者である組織以外だけでなく、同契約者の組織内の他部署、支社、支店などへの転送も出来ません。本レポートの全部もしくは一部の転載も禁じられています。著作権違反が発覚した場合、違約金が発生することがあります。本レポートに記載された情報の正確性については万全を期しておりますが、購読者が本レポートの情報をういて行う一切の行為に関して、リム情報開発株式会社は責任を負いません。また、天災、事変その他非常事態が発生し、または発生するおそれがあり、運営が困難となった場合、レポート発行を一時的に中断することがあります。

事業所一覧

[東京本社]

[Tel:03-3552-2411](tel:03-3552-2411), Fax:03-3552-2415

e-mail:info@rim-intelligence.co.jp

[シンガポール支局]

[Tel:\(65\)-6345-9894](tel:65-6345-9894), Fax (65)-6345-9894,

e-mail:hagimoto@rim-intelligence.co.jp

[北京支社]

[Tel:\(86\)10-6498-0455](tel:86-10-6498-0455), Fax:(86)10-6428-1725

e-mail: ma@rim-intelligence.co.jp huo@rim-intelligence.co.jp



RIM INTELLIGENCE

Bunker Oil

3F Yaesudori Hata Bldg, 1 Chome 9-8 Hatchobori, Chuo-ku, Tokyo Japan
Tel:81-3-3552-2411 Fax:81-3-3552-2415 e-mail:info@rim-intelligence.co.jp

[上海支社]

[Tel:\(86\)-21-5111-3575](tel:(86)-21-5111-3575), e-mail:rim_sh@rim-intelligence.co.jp

(C) 2020 RIM INTELLIGENCE CO.